

## 令和4年度 秋田県立秋田北高等学校 学校評価

	分掌名 ( 1年部 )	記載者 高階 一也
重点目標	<p>3年間の目標：「主体性」と「考動力」の育成</p> <p>1年次の目標：規律ある生活を基に学習習慣の定着を図り、主体的に学びながら自己の進路目標を追求する姿勢を育む。</p>	
具体的な計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 明るく元気に登校し、規律ある生活を送る。</li> <li>2 挨拶や礼儀、マナーを身に付け、正しい整容を心がける。</li> <li>3 他者を尊重し自己を表現して、より良い人間関係を築く。</li> <li>4 予習→授業→復習のサイクルを定着させる。</li> <li>5 平日3時間、休日5時間の家庭学習をキープする。</li> <li>6 部活動や校外活動、係・委員会活動などに主体的に取り組む。</li> </ol>	
具体的な評価	<p>前期評価</p> <p>■主体性を養うため、生徒全員に手帳を配付して積極的な活用を促した。アンケートの結果、生徒の半数以上が手帳の活用により「時間や計画を立てることを意識するようになった」「忘れ物が減った」と回答しており、やるべきことができるようになったり、先の予定を意識して生活できるようになったりなど行動の変化が見られ、徐々に効果が表れてきている。しかし、学習時間調査では平日2時間弱、休日3時間弱の家庭学習に留まっており、まだまだ時間の有効活用ができていない状況である。また、振り返りが甘く、自らの成長を実感している生徒は少ない。今後は、さらに手帳の活用頻度を増やし、自己肯定感を高められるよう働きかけていきたい。</p> <p>■2年次からのコース・科目選択にあたり、新規事業であるGRCなどの進路講演会や夢ナビプログラムを活用し、選択の幅を広げる取組を行った。</p>	総合評価
取組状況	<p>後期評価</p> <p>■大学出張講座や職業人講話、夢ナビプログラムなどを活用して進路情報を収集し、自らの進路選択の幅を広げる取組ができた。生徒・保護者面談も充実させ、ミスのないコース・科目選択ができた。</p> <p>■GRC講演会は、事前オリエンテーションを含め計5回を行った。世界を舞台に多様な分野で活躍しているゲストの話聴き、物事を考える視野が広がり、新しい考え方を知ることができたと回答する生徒が多かった。今の自分を見つめ直すきっかけとなり、自分がしたいことや長所となる点を見つけ、歩みたい人生を歩めるよう前向きに生きようとする姿勢が芽生える講演会となった。</p> <p>■教育相談部主催の「ソーシャルスキルアップセミナー」に生徒27名が参加した。また、生徒指導部主催の「困りごと調査」において人間関係の問題が指摘されたクラスに対して、別途SCから講話をいただいた。</p>	B
今年度の課題	<p>■青年中期の発達段階によるものもあると思われるが、社会性や人間関係の構築に難がある生徒が見受けられる。</p> <p>■GRC講演会では、海外在住のゲストとつなぐ都合午前前の講演会となるため、他学年との時間調整が難しかった。</p> <p>■学習時間調査では回を追うごとに減少傾向が見られ、考査のない平常日の調査では平日1.4時間、休日2.2時間と、目標時間には程遠い結果となった。</p>	今後の改善策
	<p>■2年生に進級すればクラス替えとなるが、アイスブレイクに加え、ソーシャルスキルを身に付けるセミナーを生徒全員に受けさせたい。</p> <p>■来年度のGRC講演会は1・2年生合同で実施するため、今年度よりは時間調整がしやすくなると思われる。</p> <p>■起床・学習開始・就寝時間を固定し、毎日規則正しい生活を送り、学習習慣を一層定着させるよう働きかける。</p>	